



ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第374号

大人の日曜学校

典 礼 に つ い て

遠賀地区 松尾 隆

先日“典礼”をテーマに大人の日曜学校が行われました。講師は李神父様、着任してから約二ヶ月水巻教会のことについてまだ良く分からない事がありますと前置きしながら、テーマの典礼について、ミサは典礼儀式書によって行われるもので、司祭の交代によって変わるものではないことをまず強調されました。

集会は神父様のお話を聞きながら信徒に問いかけると言う方法で行われた。

まず集会祈願前の沈黙について、李神父様はこれから行われるミサにどのような気持ちで臨むか最初の沈黙を非常に大切にしていると話された。沈黙の重要性についてはこれまでも度々指摘されていることですが、神父様はミサの始まる前の聖堂内の雰囲気についても一人一人が神様と向かい合う大切な時、皆さん意識しましょうと呼びかけられた。

続いて主任司祭が着座する椅子について、カテドラルを例に話された。カテドラルとは司教座聖堂のことで祭儀中に司教が着座する“椅子”のことを意味し、司教以外は着座することは許されない、祭儀は司祭を中心に行われそのシンボルとして椅子がある、小教区の椅子もその考えの内にあると話された。

続いて、その椅子がある内陣に土足で上がることにについて抵抗がある、内陣に上がる時は、スリッパに履き替えたら、などと活発

な意見が交わされた。

第二バチカン公会議前までは内陣と信徒席は柵で遮られていた。又、内陣の一番奥に祭壇があり、さらにその奥に聖櫃がありその空間で司祭は信徒に背を向け祭儀を行っていた。

現在では司祭は祭壇を挟んで会衆に顔を向けて祭儀を行い、柵もなくなった。信徒も比較的自由に内陣に上がっている。もちろん理由もなく上がっているのではないが、柵がなくなり内陣の持つ聖なる空間と言う意識に変化があるのか？

水巻教会でも建て替える前、聖堂に入ると

典礼について(1面より続き)・・・2面
李神父様の呼びかけで映画鑑賞・・・2面
世界三大宗教を知る・・・・・・・・・・3面
ファミリーキャンプ・・・・・・・・・・4・5面
小教区委員会・・・・・・・・・・6面
西日本豪雨と教皇の回勅・・・・・・・・7面
お知らせ・幼稚園から・・・・・・・・8面

きはスリッパに履き替えていました。今の聖堂になってから土足になりひざまずく事もなくなりました、柵もありません、でも無意味だからなくなったというわけでもないでしょう。

信仰理解(バチカン)の変化により私たちの信仰の表し方も随分変わってきましたが、改革により教義が変わったわけではありません、古いと言われる、習わしのなかに聖な

るもの、神聖を感じ取ることは多々あります。この問題について李神父様は皆さんで考えてくださいと、典礼委員会で引き続き考えて行くこととしました。

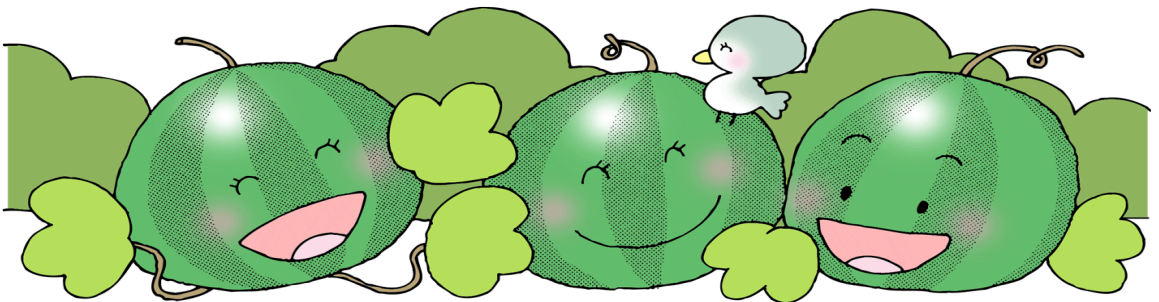
今回の大人の日曜学校、多くの人が自分の意見を述べ、古いと思われることにも目を向けることにより、あらためて新鮮な気持ち、目で見ることができ信仰養成の糧になったのではないかと思います。

李神父様の呼びかけで映画鑑賞会

—秋には、ハイキングを予定—

李神父様の呼びかけで、7月14日(土)映画を見に行きました。中、高生、青年(と思っている人も)と年齢幅を広くとったこの映画鑑賞会でしたが、残念ながらこの日集まったのは坂本素珠(すず)さんただ一人。残念な結果でしたが、次もあるからと気を取り直し、李神父様、宮崎神学生、丁度この日居合わせた金成根(キム・ソングン)神学生の4人で早速ユナイテッド・シネマ中間に出かけました。この日観たのは話題の映画「ジュラシック・ワールド」で、迫力の大画面と大音響でこれを鑑賞しました。

この後映画館から十分ほどのところにある韓国レストランで食事。大満足の日でした。「秋には自転車で素敵なおところに行きたい」と希望しておられる李神父様。次には、大勢が参加して、神父様の財布に穴を開けましょう。ちなみにこの日の会計は、全て神父様のフトコロからです。



(世界三大宗教を知る)

イスラム教 (4)

- ・喜捨 自主的な献金ではなく義務の献金です。収入に応じて支払う金額が決まります。このお金は貧しい人や神に仕える人に分け与えられます。お互いに助け合うことが義務になっているのです。
- ・巡礼 お金があって健康な信徒は一生に一度は聖地メッカにあるカーバ神殿を訪ねなければなりません。毎年イスラム暦の12月8日から10日まで世界中から200万人の巡礼者が来て礼拝が行われます。先日インドネシア研究をしている大学の先生に聞いた話ですが、イスラム教徒が二億人以上いるインドネシアでは、メッカへの巡礼希望者が多くて順番待ちになっているそうです。長い人は30年先の人もいると聞きました。二億人の1%の人が行っても二百万人ですから希望者が自由に行くことには無理がありますね。

*イスラム教の一般的な知識

イスラム教徒は夜明け前から日没後まで一日5回の礼拝をします。この礼拝はイスラム教の礼拝堂である「モスク」から知らせが流れます。モスクの横に普通は2本の「ミナレット」という尖塔があり、その上から礼拝の時間が来たという礼拝への呼びかけが流れます。この呼びかけを「アザーン」と言います。初めてイスラム教のモスクがある国に行った時、到着した翌日の早朝に、このアザーンの声にびっくりして目が覚めたことがありました。昨年聞いたアザーンは、最初に「アッラー・アクバル」から始まっていました。この言葉は「神(アッラー)は偉大なり」という有名な言葉です。

食べ物にも決まりがあります。イスラムの決まりに従った食物しか食べてはいけません。有名なのは豚肉を食べてはいけないことです。豚肉によるスープや加工品もすべて禁止されています。昔は肉の保存が難しく虫なども発生する豚肉は禁止されたと考えられています。

イスラム法に従った食べ物は「ハラール食品」と言います。最近は日本でもハラール食品を売っている店が増えています。

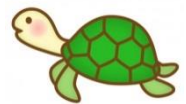
酒も基本的に飲んではいけません。しかし、イスラム法が緩やかな国には酒はあります。たとえばトルコやウズベキスタンなど中央アジアの国です。

イスラム教徒の女性はベールを被っている印象があります。しかし女性がベールを被ることは厳格に決められていることではないそうです。ベールを被る習慣はイスラム教以前からの各地の風習も影響しているそうです。ベールの役割は女性の貞節を守ると考えられますが、どの程度髪を隠すかは各地で違います。ほとんど被っていない国もあります。インドネシアでは、以前はほとんど被っていなかったそうですが、アラビアなどの中東の影響で被る人が増えたそうです。

イスラム教では一夫多妻であると聞きますが、必ずしもそうではないようです。近代では禁じられている国もあります。一夫多妻の仕組みは、未亡人になった女性を守るためという話も聞きました。イスラム法の内容は簡単には分かりません。 (広報 岩本)

2018年7月15日 ファミリーキャンプ

毎年恒例のファミリーキャンプ、今年は3年ぶりに中間市の垣生公園に行きました！当日は33度を超える猛暑にもかかわらず、幼児小学生8名、高校生1名、信徒19名に加え、宮崎神学生、青田神学生、そして、韓国に帰省直前のイ神父様もご参加いただきました。強い日差しの中、熱中症が心配でしたが、公園に着くなり子供たちは元気に遊具で遊び、公園内を散策しました。昼食、デザート、スイカと汗をかきながらも皆、おいしくいただきました。また、垣生公園といえば、前回同様ボートが一番の楽しみ！あまりの暑さに気がすすまない大人と違って、蓮君、たつき君、ひよりちゃん、ともきちゃんは乗る気満々です！しかし、いざボートに乗ってみると水面に少し風がふき、微かな涼を感じることができました。方向転換に苦戦しながらも子供だけでなく、大人も意外に楽しんでいました。また、今年は多くの外国の方にも参加していただき、良い親睦の時間ともなりました。神様の恵みと見守りの中、最後まで事故なく無事にこの日を終わることができましたこと、心から感謝したいです。ご協力いただいた皆様、ご参加くださった皆様ありがとうございます。



食事前のお祈りは、欠かせません。よーし、食べるぞ



子供達に大人気でした。
シャボン玉とぼそ、屋根まで
とぼそ！
大人も子供に帰って大はし
やぎ

鯉の餌やり・大きな鯉が集団で



アレックスファミリー

アルクイーン・ベンジャミン両兄弟、お兄ちゃんは歌がとても上手でした。



漕ぎ手はおじいちゃんじゃあないの？連君、がんばる。へさきのたつちゃん、悠然と涼んでいます。ひよりちゃんはカメラに向かって手を振って…



宗ファミリー

ともひさ・はると兄弟、二人はとっても元気です。

委員会等報告

2018年7月分

7月度小教区委員会 7月1日

1. 行事予定

- ・8月5日(日) 北九州平和の集い
小倉教会
- ・8月15日(水) 聖母被昇天ミサ 9:30～
- ・8月18日(土) 役員会
- ・8月19日(日) 北九州信徒協代表者会議
- ・8月24日(金) ホームレス支援炊き出し

2. 議事

① 敬老会の準備

9月16日に開催します。75歳以上の方、113名が対象となります。案内状を送付しました。今年はパーティー形式とし、みんなで祝いたいと思います。

食事の準備のお手伝いをお願いします。

② 平和の集い

千羽鶴を奉納します。協力をお願いします。平和の集い終了後、千羽鶴は北九州市主催の「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」(8月9日)に改めて奉納されます。

折り紙は永谷さんから寄付していただきました。

③ 典礼委員会より報告

1) 冠婚葬祭の会

地区から代表者を出していただく。納骨堂委員会、クリストフォールにも参加いただき、グループ活動を目指す。

式次第(冊子)の見直しを検討する。

2) 侍者の育成

子ども達の不足が根本的な問題だが、大人の侍者育成を呼びかける。

④ 年間議題の確認

今年度、検討として挙げる事項は下の通り。

1) 小教区委員会規定、役員選考規定

現規定を小教区委員に配布。内容を確認いただき、意見があれば次回、小教区委員会にて整理する。

2) 地区の再編成

役員会より再編成案を提案させていただく。

3) 高齢者の送迎について

人によってニーズが異なると思われる。具体的な要望が見えてこないと対応も決められない。ヒアリングや地区集会を通じて、各地区からニーズを吸い上げていきたいと考えています。

ホームレス支援よりお知らせ

☆追悼集会夏祭り☆

日時：8月11日(土) 16:30～

場所：勝山公園中央図書館芝生の広場

お手伝いできる方は、午後3時より会場設定をお願いします。

☆水巻ホームレス炊き出し☆

日時：8月24日(金) 10:00～

120食のお弁当を作ります。暑い中ですが、お手伝いできる方は、ご協力をお願いします。(担当 橋本富美)

西日本豪雨、二酸化炭素による地球温暖化、教皇回勅「ラウダート シ」

西日本豪雨は甚大な被害をもたらし、例えば私の郷里・愛媛南部でも知人の多くが家屋の浸水被害を受け、それら知人の知人となると、亡くなられた方も複数おられる様です。

この巨大豪雨の出現も、「CO₂（二酸化炭素）による地球温暖化」のなせる一側面であることは間違いありません。折しも昨日(7月21日)は、私の職場(大学)のオープンキャンパスがあり、私は「CO₂による地球温暖化のメカニズム」というミニ講義をしたところです。

この論理からすれば、例えば米国での過去 100 年間の贅沢なエネルギー消費と莫大な CO₂ の排出は、朝倉日田豪雨にも、西日本豪雨にも、程度は僅かでも、確かに原因になっているのです。人間の運命、そして悲劇が、世界中至るところの、商工業あるいは生活の必然的成業に由来するのです。

縁遠そうに見えるが、人類が深刻に意識しなければいけないこと；このことを、”神が人間に託された地球だからこそ、クリーンな大気、水の維持に努めるべきこと”を皮切りに教説されたものが、教皇フランシスコの回勅「ラウダート シ」です。これについては数年前マヘル神父が重要さを指摘されたのですが、私も自主的に、この紹介をからしだね(2015年9月号～12月号)に掲載しました。

以下、回勅「ラウダート シ」から、今回の文脈に合った数点を抜粋します。

・「人類を解放し、救いを行った神は、宇宙を作った神と同じ神である。」つまり神は、人間の社会や心の世界をも司れば、宇宙・地球・自然をも司っている、ということです。

また、「人間の生命は3者と密接な関係にある：神と共にあり、隣合う生命と共にあり、地球と共にある」とあります。多少、恐れ多いことですが、人間は神との関係と同様に、他の生命(動植物)、地球環境をも考えてゆかなければならない、ということでしょう。私に語れる権能はないのですが、これは「人間どうしが互いに愛し合うことは、神を愛することの次に大切な教え」・・・これに通じるものがあるのではと思います。

そして、人類は、「耕して、維持されてゆく世界の庭」に対する責任を持っています」と書かれ、環境問題取組が求められています。

商工業の営み、日々の生活のエネルギー消費(特に、裕福な階層による)が一原因となって、気象的な大災害が誘起され、多くは農村地帯、特に貧困層を苦しめる事態が生ずる。特にこれらのことを直視し、教皇フランシスコは回勅を書かれたと思われます。そして、回勅に収められた内容は、抽象的ではなく具体的で、神の意図は何か人間の日常行動を交えながら示されている、手厳しいが、理想的な回勅と言えます。

広報委員 三谷

8月のおしらせ

★特別献金★

6月24日 聖ペトロ使徒座への献金
30,650円
ご協力、ありがとうございました。

★第18回北九州平和の集い★

日時：8月5日(日) 14:00～16:30
場所：小倉カトリック教会
皆さんに折っていただいた折鶴を奉納します。
参加される方は、聖堂後ろの用紙に名前をご記入ください。

★ホームレス支援★

日時：8月24日(金) 午前10時～
お手伝いできる方はご協力をお願いします。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 8月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

水巻聖母幼稚園は夏休みになりました。預かり保育の子ども達は、連日の猛暑に負けず元気に過ごしています。

一学期はマリア子どもの家横の畑で、ナス、トウモロコシ、キュウリ、トマト、カボチャなど様々な野菜が育ち、神様に感謝しながら収穫の喜びを感じることが出来ました。先日は幼稚園の子ども達と一緒に、イ神父様も収穫に参加してくださいました。バジルやサニーレタスなど自分たちが収穫したものもお裾分け出来て、心満たされた時間を過ごせました。



＜マリア子どもの家＞

・2018年度は12名でスタートしましたが、次年度は19名までに増員予定です。ご希望の方は、お問い合わせください。

電話：093 201 9559

メールアドレス：ContactUs@mizumakiseibo.ed.jp

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家 園長 Sr 松川明子・教職員一同